

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 6月7日放送分 北の海に鍛えられ！～宮城・海のウエアづくりにかける～

6月7日放送分 北の海に鍛えられ！～宮城・海のウエアづくりにかける～

6月7日(TX・TVO・TSC)

8日(TVA・TVH・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

9日(BSJ)

宮城県の(株)モビーディック(資本金8,300万円、従業員79名)は、国内ウエットスーツ業界ではトップシェアを誇るメーカー。東北の冷たい海で磨かれた技術力を活かし、スキューバダイビングを始めとするマリンスポーツ用、業務用など多様なジャンルで使用されるウエットスーツを開発している。社長が20歳の時、石巻沖でのマッコウクジラとの遭遇体験が経営のコアという当社のトップシェアを勝ち得た軌跡を追う。

北の海に鍛えられ！

～宮城・海のウエアづくりにかける～

[視聴覚教材No. TV15-10](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



北上川から志垣さん登場！

川を泳いだはずなのに、中に着ていた服は全然濡れていない。今日は、このダイビング用のドライスーツを作っている会社を訪ねる。





ダイビングスーツの販売店。「バックロール」

学生時代、ダイビングをやっていた志垣さんは、こんなにおしゃれなダイビングスーツがあることにびっくり。しかも、優れた保温機能を兼ね備えている。



こちらがダイビング用スーツを製造している(株)モビーディックの保田社長。

学生時代に鯨の調査に協力して海に潜ったことが、保田社長がこの業界に入ったきっかけ。ダイビング用品店を継いだ保田社長は、冷たい宮城の海でも潜れる、「全く水に濡れないスーツ」「ドライスーツ」を開発した。



大ヒットしたドライスーツだが、水が漏れて



しまい全て返品。保田社長は、返品されたドライスーツを作り直し、再び顧客に納品した。その誠意ある対応は顧客から評価された。

POINT: 誠意を持った対応が評価された



ドライスーツの製造工場。製造しているスーツは、ほぼ100%がオーダーメイド。販売店から顧客の情報が工場に送られてきてから製造開始。



生産速度を上げるため、この工場では職員の誰もが、全ての工程をこなすことができると佐藤工場長は語る。すると当然、製品チェックの目も厳しくなる。

POINT: お客様に渡す時間を半分に
POINT: モノづくりをしながら検査を



機能、デザイン等の研究をする当社にとって、機能系被服デザイナーの中澤さんは、頼もしい存在。ウェットスーツの開発は「(他企業が)いきなりやろうとしてもできない。」

POINT: 特殊な市場を選んだ強み



工場の外にはスーツの実験用タンクが置



かれています。有害物質に汚染された水域でも潜れるドライスーツの研究に使用されていた。

汚染水域で潜るためには、絶対に水が入ってこない構造にしなければならない。「このスーツの需要は少なくとも、この技術は他の商品に応用できる」と保田社長は語った。

POINT: 得られた技術を他の商品に展開



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN